

北海道中小企業家同友会根室支部 第24回定時総会

2007年4月26日
於 イーストハーバーホテル

1. 開会宣言
2. 支部長挨拶 北海道中小企業家同友会根室支部 支部長 杉山 忠夫

=====<第1部 記念講演 18:00～19:00>=====

テーマ：『経営者と社員、そして、お客様と共に育つ』
～それは社員の職場放棄から始まった～

【講師】(有)鳥海（北嶺不動産(有)） 代表取締役 大石 清司様



=====<第2部 総会 19:00～19:30>=====

- ①議長選出
- ②役員選考委員選出
- ③報告事項 <1>2006年度の活動と決算報告
- ④議題 <1>2007年度の活動方針案と予算案の提案
 <2>2007年度の役員選出
- ⑤質疑応答
- ⑥採択
- ⑦議長退任

(第1回幹事会)

=====<第3部 懇親会 19:40～20:30>=====

- ①第1回幹事会の報告
- ②新役員代表挨拶
- ③来賓紹介・祝辞 北海道根室支庁 産業振興部長 等々力 順祐 様
 根室市 商工観光課長 野田 敏 様
④祝杯 根室商工会議所 副会頭 山本 連治郎 様
- ⑤懇談

=====
3. 閉会宣言

同友会の3つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と、強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、多くの人に触れあうことによってお互いの人格、識見を高め、現代の経営者に要求される総合的な能力を身につけるよう努力します。
3. 同友会は中小企業をとりまく経営環境の改善をめざします。

同友会の3つの精神

自主・民主・連帯

同友会の目指す企業像

国民や地域と共に歩む中小企業

会員間取引の三つの申し合わせ

1. 同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する
2. 率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめ、お互いに利益は保障する。
3. 取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。

私たちの合言葉

1. 知り合い、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう！
2. きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう！
3. 激動をよき友とする経営者になりましょう！

根室支部第24回定時総会参加者名簿

敬称略

	団体名・会社名	氏名	役職
来賓	1 北海道根室支庁	等々力 順祐	産業振興部長
	2 根室市	野田 敏	商工観光課長
	3 根室商工会議所	山本 連治郎	副会頭
他講師 お客様 支部 からの	4 (有)鳥海	大石 清司	代表取締役
	5 (株)ライナーネットワーク	安井 清吉	代表取締役
	6 (株)電気工事西川組	西川 辰美	代表取締役
	7 苫小牧コンクリート(株)	西谷 利明	代表取締役
根室支部 会員	8 (株)あべ商会	阿部 紀範	代表取締役
	9 泉プロパン(株)	平岡 寛	営業課長
	10 泉プロパン(株)	小野 裕康	
	11 泉プロパン(株)	湊屋 健	
	12 泉プロパン(株)	橘 和人	
	13 泉プロパン(株)	台 健太	
	14 泉プロパン(株)	菊地 陽介	
	15 泉プロパン(株)	山崎 弘幸	
	16 泉プロパン(株)	蔵重 拓	
	17 泉プロパン(株)	遠藤 正之	
	18 (株)ウオッシング根室	平井 耕二	代表取締役社長
	19 (有)オマタ左官工業	尾亦 利秋	代表取締役
	20 カサイ商店	葛西 友広	
	21 (有)カメラロード・ミヤザキ	宮崎 義博	代表取締役
	22 (有)喜多商店	喜多 國敏	代表取締役
	23 小林技術コンサルタント(株)	藤本 保一	常務取締役
	24 齋藤商事	齋藤 信	部長
	25 坂巻歯科医院	坂巻 秀敏	院長
	26 サテンドール	谷内田 典子	
	27 (株)寿ストア 嶋津商店	嶋津 隆之	代表取締役
	28 (有)酒泉館	小林 悟	取締役
	29 (株)杉山水産	杉山 忠夫	代表取締役
	30 (株)すずき	鈴木 新一	代表取締役
	31 (株)鈴のき	荒木 伸子	代表取締役
	32 (株)タイエー	田家 徹	代表取締役
	33 田家木材(株)	田家 守	専務取締役
	34 (株)ナオエ石油	魚谷 直孝	代表取締役

根室支部第24回定時総会参加者名簿

敬称略

		団体名・会社名	氏名	役職
根室支部 会員	35	(株)ナカイチ	田嶋 靖照	取締役
	36	根室有磯郵便局	千葉 武	局長
	37	根室印刷(株)	山田 康志	取締役副社長
	38	根室スチレン(株)	高岡 一朗	代表取締役
	39	福井製麺所	福井 富士雄	代表
	40	北海道マツダ販売(株)根室支店	浄土 勝則	店長
	41	ホーム企画	敷浪 徹	代表
	42	マルイチ綜合食品(株)	高館 正一	代表取締役
	43	(株)マルダイ水産	笹渕 仁	営業部長
	44	(株)ワーキングハウス	板屋 大介	代表取締役
	45	渡辺建設工業(株)	惣万 読	専務取締役
会員 外	46	新星レジャーサービス(株)	李 成八	代表取締役
	47	(有)能登建設	能登 隆	代表取締役

=====＜第 1 部 記念講演＞=====

【演 題】 「経営者と社員、そして、お客様と共に育つ」

～それは社員の職場放棄から始まった～

【講 師】 （有）鳥海（北嶺不動産(有)） 代表取締役 大石 清司氏



=====

北海道中小企業家同友会根室支部
第24回定時総会 記念講演

【テーマ】

「経営者と社員、そして、お客様と共に育つ」
～それは、社員の職場放棄から始まった～

(有)鳥海(北嶺不動産(有)) 社長 大石 清司

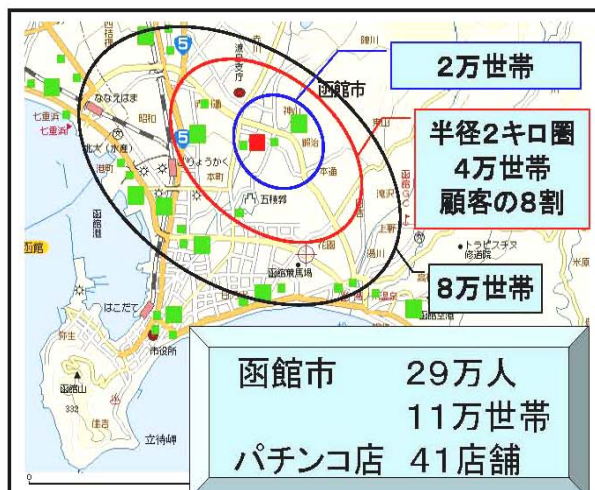
経営指針を羅針盤に、
共育で人間力構築を

1. 情勢
2. 経営指針作りで活性化
3. 5本柱の深まり
4. 共育の果たしている大きな役割

はじめに

- ・パチンコ店従業員はいかがわしいものと思われていた時代に、「自分たちの仕事に自信を持ってほしい」という想いがあった。
- ・接客はその瞬間の勝負。命令されたり、誰かに手助けしてもらったりすることはできない。一人ひとりの意識、人間力が鍵となる。それをチーム力、団結、さらず指摘するで支えます。意識が高まり、人間力が成長する共育に挑戦中です。

1. 情勢



古色蒼然

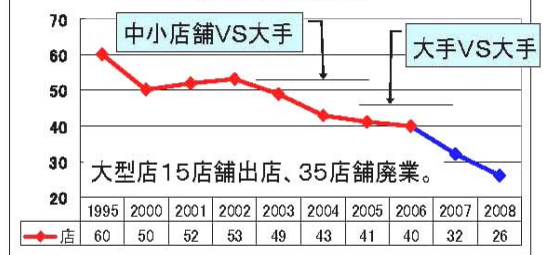


大型店出店 15店舗

- 1995年 ダイナム
- 1996年 ゴリラ神山
- 1997年 イーグル七重浜・ダイナム増床
- 2000年 太陽上磯・ひまわり昭和・キング湯川
- 2001年 イーグルアクア・太陽大門
- 2002年 ひまわり日の出・ゴリラ港
- 2003年 マルハン港
- 2004年 マルハン大門480
- 2005年 イーグル高松648
- 2006年 ライジング766・ベガスベガス1152

4店舗で3046台

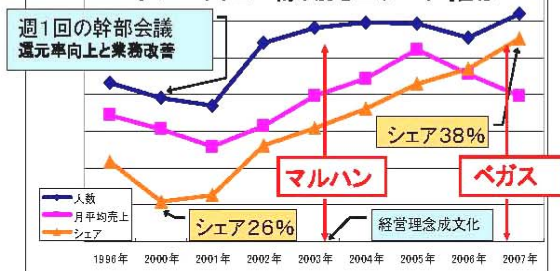
函館市 店舗数推移



- 地場既存店 60店舗が25店舗に減少。
- 管外大型店 12店舗、7546台増加。
- 管外大型店12店舗の稼働シェアは68%！

2. 経営指針作りで活性化

パチンコ富士 稼働売上シェア推移



- 02年までは様々な考え方を議論し、整理し、積み上げてきた。
- 03年からは全構成員で経営指針の成文化と実践を開始した。

鳥海の経営理念

- お客様に感動と明日への活力を提供し、地域社会のオアシスとなろう。
- 共に学び合い、育ち合い、一人ひとりの個性を尊重し合って、自主性と創造性が発揮できる職場にしよう。
- 人間相互が尊重し合い、社会道徳を発展させ地球環境を守り、社会に信頼される会社になろう。そして、仕事を通して豊かな地域社会の一員となろう。

5本柱

経営理念 オアシス

- 組織的運営
- 地域密着
- 共育
- 接客
- 宣伝

1993年

パチンコは接客業か？

ギャンブル業か？

- ・業界内で横行している、ギャンブル業としての顧客との騙し合いという発想に対し、接客をもっと位置づけようと発想した。
- ・人は何故パチンコをするのか？からスタート。北海道大学井上教授の話「自己確認と自己実現がしにくい社会だからこそ、自分の働きかけで結果を得られるパチンコに魅力があるのではないか？」

1997年

人間尊重経営の第一歩

- ・同友会への積極的参加と宿泊討論会で「学びあい、育ちあい」を、仕事の基本として「**さらず指摘する**」を、軸として人間的成長を目指す。
- ・現場はグループ、陰口、いじめ、殴り合いの到達点からスタート。ぶつかり合いながらも一歩ずつ成長しあう。

1998年から低落傾向の問題

――背景――

- ・不況に強いパチンコ業も立ち行かない程の不況の深まり
- ・鳥海の整理回収機構への移行
- ・最有力パチンコ台製造メーカからの取引停止
- ・隣接直営店の関係で主軸機種への購入不可
- ・道内外企業の出店、市内有力店の大型化
- ・理念方針の理解不足、団結の不十分さ

2000年より経営体質改善に挑戦

1. 良い接客のためには良い職場環境が大事
(見せ掛けでは長時間遊ぶ顧客には見抜かれる)
2. 経費削減、業務改善、お客様へ還元
(清掃、設備など専門家への依頼)
3. 幹部集団での集団指導体制の構築開始
(週一回の幹部会議6名、約5時間)
4. 経営戦略の構築

1. 良い職場環境を作るために

- ・情報の共有→ワーキングメモ、業務回覧板
- ・社員の提案は出来るだけ取り入れる。
- ・さらず指摘する→人間は言わないではいけない、仕事に関することは会社の財産。
- ・失敗しないというのは何もしないのに等しい。
- ・共育的視点での相互のかかわり。

2. 経費削減・業務改善・

お客様に還元

- ・徹底的な業務見直し。(厨房廃止、清掃時間帯変更、ホールの回り方まで)
- ・同友会会員企業の力も借り、業務の質的レベルアップ。
- ・300人余りのお客様を6～7人のスタッフでは見切れない。お客様と一緒に創る、お客様の大人の対応力に依拠しよう。

3. 幹部での集団指導体制の構築開始

- 当初は議論できない、考えることの放棄。
- 思いつきの議論のため方針の継続性に欠ける。(科学的根拠に基づいた議論に不慣れ)
- 時間がかかるが失敗し、検証する繰り返しの中で力がつく。(基本方針以外は任せる)
- ハウ・ツウでなく本質的な見方を身につける。

4. 経営戦略の構築

- 安心・公平・平等
- 2. 5円、台移動ナシ、玉コイン共有ナシ
- 無駄な新台入替をしない

業界常識からの脱却

2003年 日本一の企業が出店

全構成員で経営指針の成文化を開始

2004年 全道一の企業が出店

全構成員で理念方針の実践を徹底

マルハン・イーグル出店の中、稼働率トップ争い

2003年から全構成員で成文化開始

- 全社員が危機意識を持ちマルハンを研究。
- 6年間積み上げてきた理念方針を幹部集団で成文化開始、年末には全構成員で議論。
- 「経営指針の手引き」中小企業における労使関係の見解」を学習。
- 毎週2時間のグループ討論を行う班会開始。
- 毎月2時間の理念勉強会。
- 半期ごとの全体集会で総括・方針を決定。

2004年 全構成員で理念方針を実践

経営理念 オアシス

- 組織的運営 大胆に役割分担し、依拠する。
- 接客 感動安心公平の追求。
- 宣伝 思いを伝える。
- 共育 方針の実践を科学的に支える。
- 地域密着 市民と地元企業で豊かな地域を作る。

次々と大手が出店する中

2006年 全構成員で方針を深めあう

過去最高の稼働人数

2006年 全構成員で方針を深めあう

- ・ 組織的運営 役割の明確化と各自の総括。
- ・ 接客 お客様の本当の気持ちを追求。
- ・ 宣伝 もっと深く明快に思いを伝える。
- ・ 共育 さらす指摘するで磨き上げる。
- ・ 地域密着 協賛から連帯へ。

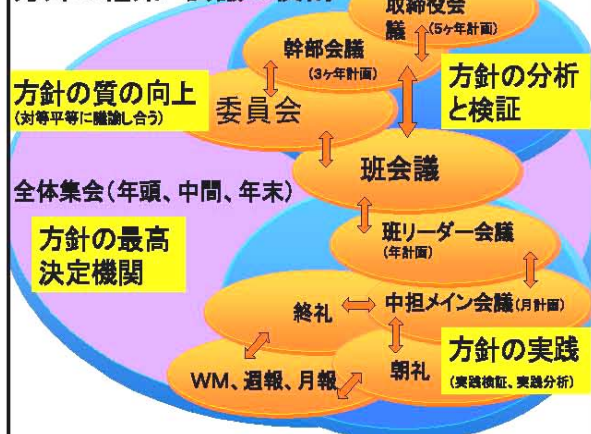
他店競争に打ち勝ってきた要素

3. 5本柱の深まり

組織的運営

- ・ それぞれが方針を持ち、さらす指摘するで磨き上げ、謙虚に学びあい、全体のものにすることを実践した。
- ・ 朝終礼の改善。終礼前コーナー総括の誕生。
- ・ 委員会の発展。方針共育の場ではなく、全構成員が対等平等に夢を語り合う場。**5本柱(接客、共育、宣伝、組織的運営、地域密着)**を専門的に週1回、1時間で議論。全構成員が参加、1年毎5年で5本柱を経験する。

方針の経路と会議の役割

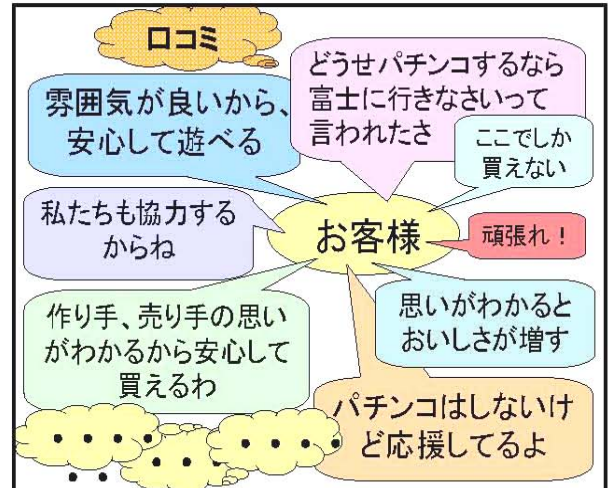
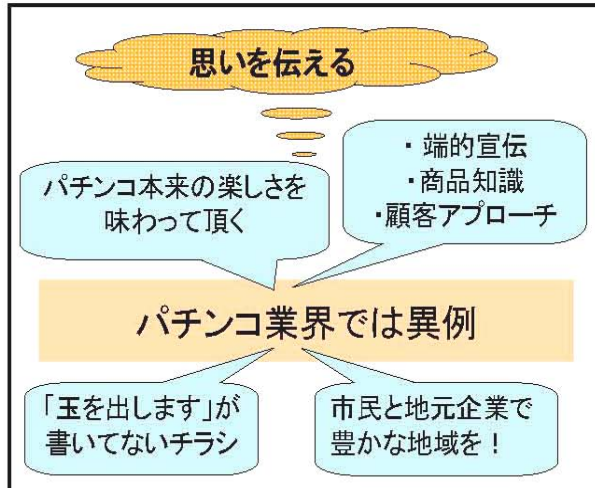


接客

- ・ 感動安心公平な接客の追求をみんなで取り組み始めた。
- ・ ギャンブル論、ストレスの昇華の学びを日々の仕事の中に落とし込み始めた。
- ・ 今できる最高の接客の実践を「島内作業・目押し応援・商品知識」から科学的に追求した。
- ・ お客様からこう見える、こう思われるをさらす指摘するで伝えあい、その場で改善しあった。

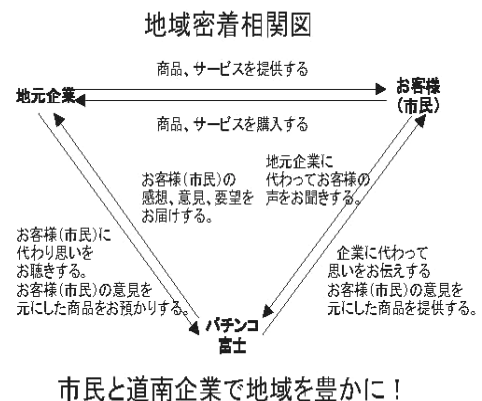
宣伝

- ・ 独自性、話題性、機敏性の追求。
- ・ お客様に共感して頂ける思いの発信の追求。
- ・ 対1、対300、外部に対してわかりやすく、リピートしたくなる、口コミしたくなる宣伝を追求。



地域密着「協賛から連帯へ」

- ・単体では大手に勝てない。
- ・ひとりでは情勢を変えられない。
- ・中小企業が連帯し、それぞれの特徴を活用しながら、各企業の思いを市民に伝え続ける。
- ・そういう切磋琢磨から大手よりも信頼される企業へと成長し、市民と地元企業で一緒に豊かな地域を作っていきたい。



「共育の果たしている大きな役割」

- ・経営理念、経営方針を展開実践することを支えてきた。経営指針作りで会社が発展した。
- ・意味と目的を学び、各自が方針を発展させる原動力となった。
- ・みんなでお客様にとってより良いホールを作る中で、互いに学びあい、支えあう大切さを実感することができた。
- ・仕事を通じて物事の道理から考えられる人間に成長し、自ら未来を切り開く力が、地域社会の一員として貢献する力の糧となる。

3. 共育の仕組み

3. 共育の仕組み

1. 4部門による共育をチェック表で展開
「理念、実務、役割、自主的独習」
2. 全構成員の共育として班会議（週1回2H）
「方針と一緒に総括し、一緒に創る」
3. 勉強会（月1回2H）
「人間の成長、暖かい接客を目指す基本学習」
4. 同友会への積極的参加

1-1 「理念共育」

- ・ 本質論を学ぶ事が創意性を発揮する保証。
- ・ 正社員だけではなく、清掃パートも含めた全構成員の学習の場を保証。
- ・ 同友会を活用し、労使見解、経営指針作り、中小企業憲章の共育。
- ・ 人類の歴史では、この国を作ってきたのは先人の賜であることを共育。
- ・ 接客業として、ギャンブル論、依存症の共育。

1-2 「実務共育」

- ・ 業務能力の向上が目的ですが、出来たか出来なかったかの結果だけで終わらず、各人が日・週・月・年単位で振り返りと展望を報告しあい、「意味と目的」から互いに学びあいます。
- ・ 文章や漢字などの読み書き、暗算など計算、報告書や感想文、ラジオ体操についても全社員への実務共育と位置づけています。

学ぶことが最大の経費削減です。

1-3 「役割共育」

- ・ 組織的運営の基本「全構成員の力を余すことなく発揮させる」を学ぶ。
- ・ 徹底した権限の委譲の挑戦。（失敗は会社の財産、だから失敗を恐れず挑戦する。）
- ・ 実践的には当日の責任者、月の責任者を持ち回りで行う。

1-4 「自主的自覚的独習」

- ・ 学ぶことこそが人間の存在意義。
- ・ 生涯共育の位置づけとして「自らが学ぶ」
- ・ 一人ひとりが自ら課題を設定して取り組む。
- ・ 投げかけを行い、全構成員が課題設定できるように目指している。

2 全構成員の共育として班会議

- ・ 週1回2H、方針と一緒に総括し、一緒に創る。幹部会の方針は代案であり、班会議で決定案とする。
- ・ 情勢、経営指針、週・月総括、グループ討論の4部構成。情勢では経済情勢、政治情勢、世界平和などを報告。経営指針作りでは委員会や同友会での学びを報告。週・月総括は班リーダーが方針代案を報告し、全員でグループ討論を行い決定案にします。

3 勉強会(月1回2H)

- 3年間で宇宙、人類、社会体制の歴史を学ぶ。
- 働くという事こそ、この国を、この社会を作ってきている事。今、自分たちが存在できるのは先人の積み重ねの賜だということ。歴史から考え、人類の現状の到達点をしっかりと認識し合うこと。ありのままの事実を学び、社員が人間として誇りを持って働くことが目的です。
- 今年からは、哲学を学び、事実の捉え方、物事の考え方を学んでいきます。

4 同友会への積極的参加

- 出来るだけ大勢で参加。
- 同じ話を聞いて、お互いに深めあう。
- 社員の誰かひとりでも心に引かかるものがあれば、社内で実践する。
- 寝てしまう人がいても良い。いつか恥ずかしいと気がついたり、仲間同士で解決しあう。

まとめ

- 2007年 相対的重点
 - －それぞれが方針を持つ
 - » 一人ひとりが自主的自覚的に行動する
 - －謙虚に学びあう
 - » さらす指摘するで仲間と学びあう
 - » お客様から学ぶ

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＜第２部 総会＞＝＝＝＝＝＝＝＝＝

報告事項＜１＞ ２００６年度の活動と決算報告

1984年に中小企業家同友会根室支部が設立されました。設立後２３年の活動を通じて同友会は根室地域にはなくてはならない団体として認められるようになりました。２００６年度は経済情勢の悪化にもかかわらず、「同友会三つの目的」に沿って着実に学習を積み重ねてきました。２００６年度の活動の特徴として次の点が挙げられます。

- １．根室支部の会員企業数は、２００７年３月末で６８社となりました。
- ２．会員の経営体験や専門家の方からの話を伺い、激変の中でも健全な経営をしていくための勉強を継続しました。また、中小企業憲章への理解を深めるべく幹事会終了後の学習会を重ねてきました。
- ３．経営指針成文化研究会では２年間をかけてじっくりと同友会の労使見解の精神に基づいた経営理念・経営方針・経営計画を作成しました。２００７年度はこの学びの成果をさらに会員に広める為に第２期経営指針成文化研究会を発足させます。
- ４．部会活動では、青年経営者・後継者の部会「山高会」が活発に活動を行っています。また、幹部部会「番頭会」も熱心に学びあっています。



【根室支部例会】



【経営指針成文化研究会】



【山高会例会】



【番頭会例会】

根 室 支 部

●2006 年度の活動のまとめ

1984 年に中小企業家同友会根室支部が設立されました。設立後 23 年の活動を通じて同友会は根室地域にはなくてはならない団体として認められるようになりました。2006 年度は経済情勢の悪化にもかかわらず、「同友会三つの目的」に沿って着実に学習を積み重ねてきました。2006 年度の活動の特徴として次の点が挙げられます。

1. 根室支部の会員企業数は、2007 年 3 月末で 68 社となりました。
2. 会員の経営体験や専門家の方からの話を伺い、激変の中でも健全な経営をしていくための勉強を継続しました。また、中小企業憲章への理解を深めるべく幹事会終了後の学習会を重ねてきました。
3. 経営指針成文化研究会では 2 年間をかけてじっくりと同友会の労使見解の精神に基づいた経営理念・経営方針・経営計画を作成しました。2007 年度はこの学びの成果をさらに会員に広める為に第 2 期経営指針成文化研究会を発足させます。
4. 部会活動では、青年経営者・後継者の部会「山高会」が活発に活動を行っています。また、幹部部会「番頭会」も熱心に学びあっています。

支部幹事会・委員会

2006 年

4 月 4 日	四役会	6 名	
	於 イーストハーバーホテル		
4 月 13 日	幹事会	7 名	
	於 イーストハーバーホテル		
5 月 9 日	幹事会	7 名	
	於 サテンドール		
5 月 30 日	企画委員会	5 名	
	於 エクハシの宿		
6 月 8 日	幹事会	7 名	
	於 サテンドール		
7 月 7 日	幹事会	8 名	
	於 サテンドール		
8 月 4 日	幹事会	7 名	
	於 サテンドール		
9 月 19 日	幹事会	8 名	
	於 サテンドール		
10 月 2 日	幹事会	8 名	
	於 サテンドール		
11 月 1 日	幹事会	7 名	
	於 サテンドール		

2007 年

1 月 15 日	新春幹事会	10 名	
----------	-------	------	--

於 旅館大野屋

1 月 31 日 四役会 8 名

於 イーストハーバーホテル

2 月 5 日 幹事会 8 名

於 サテンドール

3 月 19 日 幹事会 10 名

於 イーストハーバーホテル

支部例会

2006 年

4 月 26 日 定時総会 36 名

於 イーストハーバーホテル

「コロッケで年商 56 億円～社員の力なくして売り上げ増なし～」
サンマルコ食品(株)

代表取締役 藤井 幸一 氏

6 月 22 日 6 月例会 20 名

於 根室市総合文化会館

「同族会社の役員給与の一部損金不参入!! その内容と中小企業に求められる対応」
高津直孝税理士事務所

副所長 高津 直人 氏

7 月 19 日 7 月例会 15 名

於 イーストハーバーホテル

「エゾシカを地域のブランドへ～ユックのエゾ」

シカ事業の取組みから学ぶ～」

(有)ユック

代表 西尾 裕司 氏

8月25日 8月例会 14名

於 イーストハーバーホテル

「中小企業が活用できる 401 K について学ぶ」

根室有磯郵便局

局長 千葉 武 氏

9月29日 9月例会 15名

於 イーストハーバーホテル

テーマⅠ：『会社法改正の注意点と中小企業の対応』

テーマⅡ：『後継者への理想の引継ぎとは』

テーマⅢ：『理想の会議とその具体的方法について』

講師：(株)ラコンテ

代表取締役 松井 智聖 氏

講師：(株)ラコンテ

代表取締役 松下 敏治 氏

10月24日 10月例会 20名

於 イーストハーバーホテル

「業務カイゼンセミナー～金かけず・手間をかけず・知恵を出す～」

講師：中小企業金融公庫釧路支店

支店長 藤沢 市郎 氏

11月7日 11月例会 13名

於 イーストハーバーホテル

「これからの根室はどうなっていくのか～これからの根室についてざっくばらんに語り合いましょう～」

講師：根室市

保健福祉部長 島谷 満 氏

12月11日 2006年望年会 14名

於 エクハシの宿

「2006年を語り、2007年を展望しましょう!!」

2007年

1月25日 2007新年交礼会 35名

於 イーストハーバーホテル

「靴業界におけるマーケットの変化」

講師：(株)グテハキ

代表取締役 守 和彦 氏

3月9日 3月例会 20名

於 イーストハーバーホテル

『新規就農あいつぐ酪農郷はこうしてよみが

えった』

講師：浜中町農業協同組合

代表理事組合長 石橋 榮紀 氏

社員教育活動

2006年

7月4日 幹部社員研修会 16名

於 日専連根室

「これからの時代に求められるリーダー像とコミュニケーションのあり方～よりよい人間関係を築く為に～」

講師：(有)石田コンサルタントオフィス

社長 石田 邦雄 氏

2007年

3月15日 社員研修会 20名

於 日専連根室

◆部下育成の意義について理解しよう、◆モチベーション理論を整理する、◆モチベーションの源泉を探る

講師：(株)コム 代表取締役 小川 安夫 氏

経営指針成文化研究会

2006年

5月11日 経営指針成文化研究会 5名

於 高岡幹事長敷地内の生産組合

6月13日 経営指針成文化研究会 6名

於 根室有磯郵便局

7月24日 経営指針成文化研究会 6名

於 新栄商事(有)会議室

8月29日 経営指針成文化研究会 6名

於 高岡幹事長敷地内の生産組合

10月3日 経営指針成文化研究会 6名

於 タイエー千島店

2007年

1月22日 経営指針成文化研究会 6名

於 根室有磯郵便局

2月19日 経営指針成文化研究会 6名

於 新栄商事(有)

山高会

2006年

5月9日 山高会総会 10名

於 イーストハーバーホテル

6月10日 夜桜見物&焼肉交流会 9名

7月26日 7月例会 於 田嶋宅 7名

於 根室市総合文化会館
「後継者として思うこと」

報告：㈱ナオエ石油

営業推進課 魚谷 直世 氏

11月29日 11月例会 9名

於 イーストハーバーホテル
「我が社の人育て戦略と課題」

報告：㈱ナカイチ 取締役ゼネラルマネージャー

田嶋 靖照 氏

2007年

2月17日 釧根三支部青年部合同例会 21名
於 寿宴

『富士計器新商品開発物語～新商品はお客様の
立場で考えることから誕生する～』

報告：㈱富士計器

総務部課長 伊藤 彰芳 氏

番頭会

2006年

5月12日 5月例会 6名
於 福笑

・2006年度の活動について

9月21日 9月例会 7名

於 日専連根室
「中国市場に挑戦～根室ブランドの確立をめざ
して～」

講師：センウロコ 吉田水産㈱

社長 吉田 勲 氏

11月27日 11月例会 7名
於 日専連根室

「〈旭山動物園〉革命～夢を実現した復活プロ
ジェクト」～小菅園長の報告から学ぶ～

2007年

2月26日 2月例会 8名
於 福笑

会員懇談会

2006年度 釧根事務所収支決算書

(2006年4月1日～2007年3月31日)

収入の部 (貸方)				支出の部 (借方)			
	勘定科目	2006年度予算	2006年度実績		勘定科目	2006年度予算	2006年度実績
経常収入	入会金	800,000	966,000	活動費	印刷費	900,000	437,933
	(釧路)	(560000)	(854000)		通信費	1,200,000	862,361
	(根室)	(80000)	(16000)		(郵送料)	(220000)	(151485)
	(南しれとこ)	(160000)	(96000)		(電話料)	(800000)	(467428)
	会費還元金	6,886,000	7,277,000		(FAX料)	(180000)	(243448)
	(釧路)	(4400000)	(4764000)		交通費	1,500,000	1,534,797
	(根室)	(720000)	(735000)		出張宿泊費	250,000	403,840
	(南しれとこ)	(1150000)	(1168000)		釧路会合費	3,900,000	6,416,868
	(前期未収入分)	(616000)	(610000)		(例会・総会)	(3200000)	(4635255)
	寄付金	150,000	0		(教育・研究会)	(700000)	(713811)
	釧路会合収入	4,600,000	5,606,395		(地区会)	(0)	(1067802)
	(例会・総会)	(3500000)	(3582285)		根室会合費	780,000	628,109
	(教育・研究会)	(1100000)	(1080980)		(例会・総会)	(700000)	(566654)
	(地区会)	(0)	(943130)		(教育・研究会)	(80000)	(61455)
	根室会合収入	780,000	663,500		南しれとこ会合費	1,480,000	1,317,588
	(例会・総会)	(700000)	(583500)		(例会・総会)	(1400000)	(1277466)
	(教育・研究会)	(80000)	(80000)		(教育・研究会)	(80000)	(40122)
	南しれとこ会合収入	1,480,000	1,251,600		三支部合同事業費	400,000	291,233
	(例会・総会)	(1400000)	(1206600)		広報・名簿広告費	20,000	0
	(教育・研究会)	(80000)	(45000)		図書調査費	350,000	347,456
特別収入	三支部合同事業収入	450,000	258,600	事務所費	記録費	10,000	0
	広報・名簿広告収入	20,000	0		共同求人費	300,000	119,565
	共同求人収入	320,000	326,525		小計 ③	11,090,000	12,359,750
	雑収入	15,000	286,332		家賃・共益費	1,665,000	1,679,710
	小計 ①	15,501,000	16,635,952		水道・光熱費	440,000	430,249
	特別活動費引当金繰戻	0	190,000		事務用品・雑費	598,000	716,758
	小計 ②	0	190,000		慶弔費	100,000	261,500
					什器備品費	200,000	213,062
					コンピューター関係費	350,000	292,655
					小計 ④	3,353,000	3,593,934
					納税(自動車税)	78,000	74,000
					車両購入引当金	500,000	0
					備品購入引当金	195,000	0
					特別活動費引当金	285,000	285,000
					(釧路)	(200000)	(200000)
					(根室)	(35000)	(35000)
					(南しれとこ)	(50000)	(50000)
					小計 ⑤	1,058,000	359,000
	合計 (①+②)	15,501,000	16,825,952		a 当期支出合計 (③+④+⑤)	15,501,000	16,312,684
					b 当期剰余金	0	513,268
					合計 (a+b)	15,501,000	16,825,952
					c 前期繰越金	3,936,786	3,936,786
					次期繰越金 (b+c)	3,936,786	4,450,054

北海道中小企業家同友会釧根事務所
貸 借 対 照 表
(2007. 3. 31現在) 単位 : 円)

資産の部 (円)		負債の部 (円)	
(流動資産)		預り金	
現金	53,358	(釧路みけた会預り金)	305,843
普通預金	3,462,688	(釧路あゆみの会預り金)	43,034
普通預金(引当金等)	2,896,950	(釧路幹部大学同窓会預り金)	216,886
定期預金	821,359	(釧路マルチメディア研究会預り金)	235,991
切手・ハガキ類	6,956	(釧路ノイズ倶楽部)	5,495
用紙他	14,016	(釧路登山同好会 マウンテンクラブ)	5,000
未収入金	610,000	(根室山高会預り金)	229,601
		(南しれとこ会の会預かり金)	78,473
		引当金	2,896,950
		(車両購入引当金)	783,065
		(ど〜ゆ〜祭引当金)	789,458
		(記念事業引当金)	430,239
		(事務所備品購入引当金)	799,147
		(特別活動引当金)	95,041
小計 1	7,865,327	小計 3	4,017,273
(固定資産)		(自己資産)	
敷金	390,000	前期繰越金	3,936,786
電話加入権	212,000	当期剰余金	513,268
小計 2	602,000	小計 4	4,450,054
合計 (1 + 2)	8,467,327	合計 (3 + 4)	8,467,327

普通預金内訳	3,462,688	定期預金内訳	821,359
大地みらい信用金庫 新橋支店	387,442	北洋銀行 新橋大通支店	217,380
大地みらい信用金庫 中橋津支店	270,051	大地みらい信用金庫 釧路新橋支店	100,518
大地みらい信用金庫 根室本店	1,303,984	大地みらい信用金庫 釧路新橋支店	100,518
釧路信用金庫 愛国支店	368,496	釧路信用金庫 愛国支店	302,267
北洋銀行 釧路中央支店	1,064,099	釧路信用金庫 愛国支店	100,676
大地みらい信用金庫 厚岸支店 歴史講座用	68,616		
引当金等内訳	2,896,950	未収入金内訳	610,000
大地みらい信用金庫 新橋支店特別活動引当金	95,041	(2007年4月6日入金分還元金)	610,000
大地みらい信用金庫 新橋支店備品引当金	799,147		
大地みらい信用金庫 新橋支店記念事業引当金	430,239		
大地みらい信用金庫 新橋支店車両購入引当金	783,065		
釧路信用金庫愛国支店 ど〜ゆ〜祭引当金	789,458		

※この他に北海道中小企業家同友会(本部会計)内に釧根三支部保有の基金70万円があります。

< 備 品 台 帳 >

パンフレットスタンド	3	ビデオデッキ	1	スチール書棚	9
事務机	4	テープレコーダ	1	食器棚	1
補助机	3	冷蔵庫	1	デジタルカメラ	2
テーブル	10	電話機	8	テープレコーダ	1
スチールロッカー	1	テレビ	1	乗用車	2
黒板、ホワイトボード	3	コンピューター	5	(プリメーラ そ 6662)	
冷蔵庫	1	ビデオデッキ	1	(ランサー ち 464)	
電話機	8	受付カウンター	1	FAX機	1
テレビ	1	事務用椅子	3	印刷機	2
コンピューター	5	会議用椅子	39	デジタルビデオ	1

2007年4月4日

<会計監査報告>

北海道中小企業家同友会釧根事務所2006年度決算は、監査の結果、適正かつ正確に処理されていることをとめます。

吉本裕計 (印)
3月 幸 徳 (印)

議題＜１＞ ２００７年度の活動方針案と予算案提案

【根室支部２００７年度活動方針（案）】

同友会根室支部では２００７年度は「政策」「組織」「企画」「共育・共同求人」「経営指針」「親睦」の６つを柱にして次の活動を積極的に展開します。

（１）「中小企業憲章」の学習と「中小企業振興基本条例」の研究を進めましょう（担当：政策）

地域経済を立て直すためには中小企業の活性化が不可欠です。新しいビジネスを興して正しい中小企業観を育てるために、全国の同友会や全道各支部と連携をとりながら、「中小企業憲章」の学習と「中小企業振興基本条例」の研究を進めましょう。

【具体的活動】◆中小企業憲章学習会◆中小企業振興基本条例制定活動

（２）７０社会員を目指しましょう（担当：組織）

新しい会員の方が入会することは、支部会員全員にとって経営に役立つ“辞書”が１頁増えることにつながります。さらに、より積極的に幅広い支部活動・同友会運動が可能となる諸条件や財政的な基盤を広げることにまいります。今年度は７０社会員を達成しましょう。

【具体的活動】◆会員拡大◆新会員を囲む懇談例会

（３）豊かに学べる例会・経営懇談会を開催しましょう（担当：企画）

例会や経営懇談会は、その時々に関心が集まっているテーマをとりあげて開いてまいります。今年度は確固とした経営基盤を築く方策を学ぶことや地域の可能性について学ぶ例会を基本テーマに据えたいと思います。

【具体的活動】◆例会◆経営懇親会

（４）企業に「共育」の土壌をつくりましょう（担当：共育・共同求人）

社員教育が企業の命運を左右します。新入社員から幹部社員にいたるまでの研修会・講座などを開催してまいります。共同求人活動は地域の雇用を確保し、人口減少に歯止めをかけることも期待されています。求人と共育を一体と認識して活動を進めてまいります。

【具体的活動】◆求人ネット「ＪｏｂＷａｙ」◆各種社員研修会◆学校訪問・インターンシップ

（５）経営指針づくりに取り組みましょう（担当：経営指針）

企業経営の根幹とも言える、「経営指針（経営理念・経営方針・経営計画）」を確立する運動に力を入れましょう。第２期経営指針成文化研究会を発足し、すべての会員企業が経営指針を作り上げるようにしましょう。

（６）会員同士の親睦を深めましょう（担当：親睦）

根室支部の飲食店を会場にした会員同士の交流を深める活動を積極的に行いましょう。

（７）全国、全道、釧根三支部の交流を活発にしましょう（担当：４役）

釧根三支部６１２社、全道４９２４社、全国４万社の同友会会員企業は、会員企業にとって貴重な活用すべき財産です。今年度も、ありとあらゆる場所に会員同士のネットワークを築いてゆくことをめざし、交流活動を活発にすすめてまいりましょう。全国行事や１０月に苫小牧で開催される「全道経営者共育研究集会」や釧根三支部共催の「釧根経営セミナー」に積極的に参加しましょう。

（８）会員間取引を促進しましょう

同友会の会員間取引は、例会などで経営者同士がよく知り合い、①企業の業況、②営業内容、③経営者の理念や人柄、④社内体制などについての十分な理解と相互の信頼があって、はじめて長く続くものです。今年度も会員間の取引を積極的にすすめましょう。

（９）釧根事務所のホームページを充実させましょう

同友会釧根事務所のポータルサイト（<http://portal.doyu-kai.net/>）が２００５年５月に更新されました。支部の行事予定の掲示や活動報告を掲載するブログ、会員名簿の検索機能などが強化されて使いやすくなりました。出欠登録システムなどの機能をさらに進化させて参りましょう。

（１０）根室支部には次の部会があり、積極的に活動しています。登録制になっておりますのでご入会をご検討ください。

①山高会（青年経営者・後継者・幹部部会）
会費（年額１２０００円）

②番頭会（経営幹部（但し代表者及び代表者の後継予定者を除く）部会）

2007年度 釧根事務所予算(案)

(2007年4月1日～2008年3月31日)

収入の部 (貸方)				支出の部 (借方)			
	勘定科目	2006年度実績	2007年度予算		勘定科目	2006年度実績	2007年度予算
経常収入	入会金	966,000	720,000	活動費	印刷費	437,933	450,000
	(釧路)	(854000)	(560000)		通信費	862,361	850,000
	(根室)	(16000)	(48000)		(郵送料)	(151485)	(150000)
	(南しれとこ)	(96000)	(112000)		(電話料)	(467428)	(450000)
	会費還元金	7,277,000	7,428,000		(FAX料)	(243448)	(250000)
	(釧路)	(4764000)	(4840000)		交通費	1,534,797	1,300,000
	(根室)	(735000)	(748000)		出張宿泊費	403,840	700,000
	(南しれとこ)	(1168000)	(1230000)		釧路会合費	6,416,868	5,850,000
	(前期未収入分)	(610000)	(610000)		(例会・総会)	(4635255)	(4000000)
					(教育)	(713811)	(700000)
	釧路会合収入	5,606,395	5,550,000		(研究会)		(50000)
	(例会・総会)	(3582285)	(3500000)		(地区会)	(1067802)	(1100000)
	(教育)	(1080980)	(1000000)		根室会合費	628,109	780,000
	(研究会)	(0)	(50000)		(例会・総会)	(566654)	(650000)
	(地区会)	(943130)	(1000000)		(教育)	(61455)	(80000)
	根室会合収入	663,500	700,000		(研究会)	(0)	(50000)
	(例会・総会)	(583500)	(600000)		南しれとこ会合費	1,317,588	1,600,000
	(教育)	(80000)	(80000)		(例会・総会)	(1277466)	(1250000)
	(研究会)	(0)	(20000)		(教育)	(40122)	(50000)
	南しれとこ会合収入	1,251,600	1,550,000		(研究会)	(0)	(50000)
	(例会・総会)	(1206600)	(1200000)		(地区会)		(250000)
	(教育)	(45000)	(50000)		三支部合同事業費	291,233	350,000
	(研究会)	(0)	(50000)		広報・名簿広告費	0	20,000
	(地区会)		(250000)		図書調査費	347,456	370,000
	三支部合同事業収入	258,600	250,000		共同求人費	119,565	50,000
	広報・名簿広告収入	0	20,000		小計 ③	12,359,750	12,320,000
	共同求人収入	326,525	100,000	事務所費	家賃・共益費	1,679,710	1,680,000
	雑収入	286,332	150,000		水道・光熱費	430,249	450,000
	小計 ①	16,635,952	16,468,000		事務用品・雑費	716,758	744,000
特別収入	特別活動費引当金繰戻	190,000	0		慶弔費	261,500	300,000
	小計 ②	190,000	0		什器備品費	213,062	200,000
					人件費	0	300,000
					コンピューター関係費	292,655	400,000
					小計 ④	3,593,934	4,074,000
				その他	納税(自動車税)	74,000	74,000
					特別活動費引当金	285,000	0
					(釧路)	(200000)	(0)
					(根室)	(35000)	(0)
					(南しれとこ)	(50000)	
					小計 ⑤	359,000	74,000
	合計 (①+②)	16,825,952	16,468,000	a 当期支出合計 (③+④+⑤)			
				b 当期剰余金			
				合計 (a+b)			
				c 前期繰越金			
				次期繰越金 (b+c)			

議題<2>2007年度の役員選出

ご参考

このほど、帯広市に中小企業振興基本条例が制定されました。同友会帯広支部が市や商工会議所と協議を重ねながら、粘り強く制定運動を継続した結果です。

同友会は全道の拠点都市に条例の制定を働きかけています。

=====

帯広市中小企業振興基本条例

帯広・十勝は、民間開拓団の入植以来、先人たちの弛まぬ努力によって、農業及び関連する幅広い産業が発展を遂げてきました。

今日でも、農業を基盤として、食品加工や農業機械など関連産業が発達しているほか、消費・サービス、運輸・流通など幅広い産業が展開しており、帯広市は、広く十勝の産業と関連性を深めながら、十勝の産業や生活を支える中心都市として発展してきています。本市産業を支える中小企業は、地域資源が持つ価値を限りなく発揮させ、雇用を確保・拡大し、市民所得の向上をもたらすなど、帯広・十勝の地域経済の振興・活性化を図る極めて重要な担い手であります。

地域産業の発展に重要な地位を占める中小企業の振興が、帯広・十勝の発展に欠かせないものであることの理解を地域で共有し、関係者の協働で地域経済の振興を図ることにより、もって地域の発展に資するためこの条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、地域産業の発展に果たす中小企業の役割の重要性にかんがみ、帯広市の中小企業振興に関して基本的な事項を定めることにより、その基盤の強化及び健全な発展を促進し、もって産業及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号の定めるところによる。

(1) 中小企業者 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号に定めるものをいう。

(2) 中小企業者等 中小企業者、事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、企業組合、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合、商店街振興連合会その他市長が適当と認めた中小企業団体をいう。

（中小企業振興の基本的方向）

第3条 この条例の目的を達成するため、市及び中小企業者等が協働して中小企業の振興を図る基本的方向は、次のとおりとする。

- (1) 帯広・十勝の地域資源を活用する起業・創業及び新技術・新事業開発の支援
- (2) 技術・技能の向上をはじめとする人材の育成及び担い手づくりの促進
- (3) 経営基盤の強化
- (4) 産業基盤の整備
- (5) 中小企業者の組織化の促進及び中小企業団体の育成

（市長の責務）

第4条 市長は、前条の規定に基づき、地域の中小企業関係団体と密接に連携し、中小企業振興のための指針を定めるものとする。

2 市長は、国、北海道その他の公的団体等と連携し、融資のあっせん、助成金の交付その他中小企業者等に対する支援等必要な施策を講じなければならない。

（中小企業者の役割と努力）

第5条 中小企業者は、自助の精神にのっとり経営基盤の改善・強化、従業員の福利向上に努めるとともに、地域環境との調和及び消費生活の安定・安全確保に十分に配慮し、地域経済の振興発展に貢献するものとする。

2 中小企業者は、それぞれの地域及び業種等を中心に組織化を図るとともに、中小企業者等による共同事業の実施、商店街組織への加入等相互に協力するよう努めるものとする。

（市民の理解と協力）

第6条 市民は、帯広・十勝の中小企業が地域経済の振興・発展及び市民生活の向上に果たす重要な役割を理解し、地域中小企業の育成・発展に協力するよう努めるものとする。

（委任規定）

第7条 この条例の施行について必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

（帯広市中小企業等振興条例の廃止）

2 帯広市中小企業等振興条例（昭和54年条例第26号）は、廃止する。